

■附属機関

Common Institutes for Education and Research

○全学 ▶ 12ページ

附属図書館 University Library
「教養の森」センター Center for Human Enrichment
システム情報学センター Center for Information Science
産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development ・防災研究教育センター Center for Research and Education of Disaster Reduction
地域連携・生涯学習センター Center for Community Cooperation and Lifelong Learning
保健センター Health Support Center
紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History
協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching ・宇宙教育研究所 Institute for Education on Space
国際教育研究センター Center for International Education and Research
サテライト Satellite ・南紀熊野サテライト Nanki Kumano Satellite ・岸和田サテライト Kishiwada Satellite

○教育学部 ▶ 19ページ

附属教育実践総合センター Center for Educational Research and Training
附属小学校 Attached Primary School
附属中学校 Attached Junior High School
附属特別支援学校 Attached School for Special needs Education
附属農場 Laboratory Farm

○経済学部 ▶ 20ページ

経済研究所 Institute of Economic Research
経済計測研究所 Institute of Economics and Econometrics

○観光学部 ▶ 20ページ

観光教育研究センター Center for Tourism Education and Research

就職支援組織については
33ページにて詳しく記載

全学附属機関

附属図書館 University Library

教育・研究に有用な資料の収集を行い、利用者に提供しています。また学習を支援するための環境（ラーニング・コモンズ、マルチルーム、メディアルーム、グループ学習室）や、必要な文献・資料探しのサポートを行うレファレンスコーナー、多様な学習の相談、情報を受けるクロスカル情報室を設置しています。さらに、一般市民の利用、館外カウンター、地域コンソーシアム図書館等、地域に根差した図書館の役割も担っています。

○図書冊数 Books (視聴覚資料除く)

区分 Classification	冊数 Holding
和漢書 Japanese and Chinese	536,023
洋書 Foreign	206,266
計 Total	742,289

○電子ブック数 E-Books

区分 Classification	冊数 Holding
和書 Japanese	40
洋書 Foreign	9,282
計 Total	9,322

○雑誌タイトル数 Journals

区分 Classification	タイトル数 Holding
和雑誌 Japanese	4,821 (1,377)
洋雑誌 Foreign	2,273 (132)
計 Total	7,094 (1,509)

() 内は現在の受入タイトル数で内数
The number in brackets is the number of current journal's titles

○電子ジャーナルタイトル数 E-Journals

区分 Classification	タイトル数 Holding
和雑誌 Japanese	94
洋雑誌 Foreign	2,633
計 Total	2,727

○視聴覚タイトル数 Multimedia

区分 Classification	本数 Holding
CD (Music)	1,239
DVD (Movie)	2,522
Video tape (Movie)	2,393
計 Total	6,154

数字はすべて平成 27 年 4 月 1 日現在

○年度別利用状況 The Use Situation by Year

区分 Classification	平成 22 年度 2010	平成 23 年度 2011	平成 24 年度 2012	平成 25 年度 2013	平成 26 年度 2014
入館者数 Visitors	237,601	189,979	228,705	266,151	279,354
貸出冊数 (うち学生) (うち一般市民等) Loan Volumes (Students) [General Citizen etc]	24,166 (20,713) [475]	25,834 (22,700) [1,114]	28,548 (24,316) [1,133]	24,056 (20,186) [1,231]	29,740 (25,383) [1,441]



「教養の森」センター Center for Human Enrichment

全学で共通に実施する教養教育の充実および教養教育と専門教育の有機的連携を図り、本学の教育目標を達成するため、教養教育に係る企画、運営等を行い、本学の教育の質的充実に質することを目的として、平成24年10月に設置されました。



■主要業務

- ・教養科目の授業実施に係る企画・運営に関すること
- ・教養教育の改革・改善、調査研究に関すること
- ・その他センターの目的を達成するために必要な業務に関すること

システム情報学センター Center for Information Science

「情報専門教育、情報一般教育、計算機利用環境の提供、研究開発支援等に資する」ことを目的として、平成9年4月に発足した学内共同教育研究施設です。

現在は、全学の情報戦略や情報セキュリティ対策に関する事項も取り扱っています。



■主要業務

- ・情報専門教育並びにそれに必要な計算機利用環境の提供
- ・情報一般教育及び人材育成並びにそれに必要な計算機利用環境の提供
- ・計算機システムやネットワークシステムの利用支援及び研究支援及び保守管理
- ・計算機システムやネットワークに関する研究開発
- ・全学のデータベース設計、構築支援
- ・情報戦略の企画立案及び実施
- ・情報セキュリティの整備及び維持管理並びに情報セキュリティ関係の教育の実施に係る支援

地域連携・生涯学習センター Center for Community Cooperation and Lifelong Learning



地域連携・生涯学習センターは、平成10年4月に発足した学内共同教育研究施設です。「地域連携・社会貢献」を教育・研究に並ぶ大学の第3の柱と位置づけ、次の5つの特徴により、多彩な事業を展開しています。

- (1) 市街地に存在する「まちの中の大学」
- (2) 学内外の人的ネットワークを駆使して学習事業化
- (3) 地域課題に取り組む住民参加型セミナーの実施
- (4) 地域・市民の意欲と大学の人材・資源の融合化
- (5) 兼務教員・客員教員・事務スタッフが支える多彩な事業展開

産学連携・研究支援センター Center for Joint Research and Development

先端的・独創的研究の推進をめざし、重点領域を定めて、研究拠点の育成を図ります。研究面における産学官連携活動を通じて、研究成果を広く社会に還元する事を目的とします。



■主要業務

- (1) 本学における研究戦略の企画・推進
- (2) 外部の機関との共同研究及び受託研究の促進、本学の研究成果等に基づいた実用化研究及び起業化の推進及び支援その他産学官学連携活動
- (3) 新たな「知」の創出やイノベーションに繋がる研究開発の推進及び支援
- (4) 学生の独創的な研究開発の推進
- (5) 知的財産の創出、取得、管理及び活用
- (6) 技術移転の推進 等



●防災研究教育センター

Center for Research and Education of Disaster Reduction
 地域の防災研究教育拠点として平成 22 年 4 月に設置されました。東南海・南海地震などの大災害に備え、災害に強いまちづくり、防災によるまちづくり、地域の活性化を目指し、県内外の自治体・学校・関係機関などと連携をしながら、地域防災力の向上を図っています。平成 26 年 1 月に学外の有識者の方に提言をいただき、地域に貢献する研究を進め、学校教育・市民教育現場での講座開催等を行い、大学の使命である教育・研究及び社会貢献を推進しています。

保健センター Health Support Center

保健センターは、心身の健康管理を専門的・統一的に行うことにより疾病の発症を予知・予防し、学生や教職員が無事学業、あるいは職務を遂行するための支援を主な目的とする施設です。

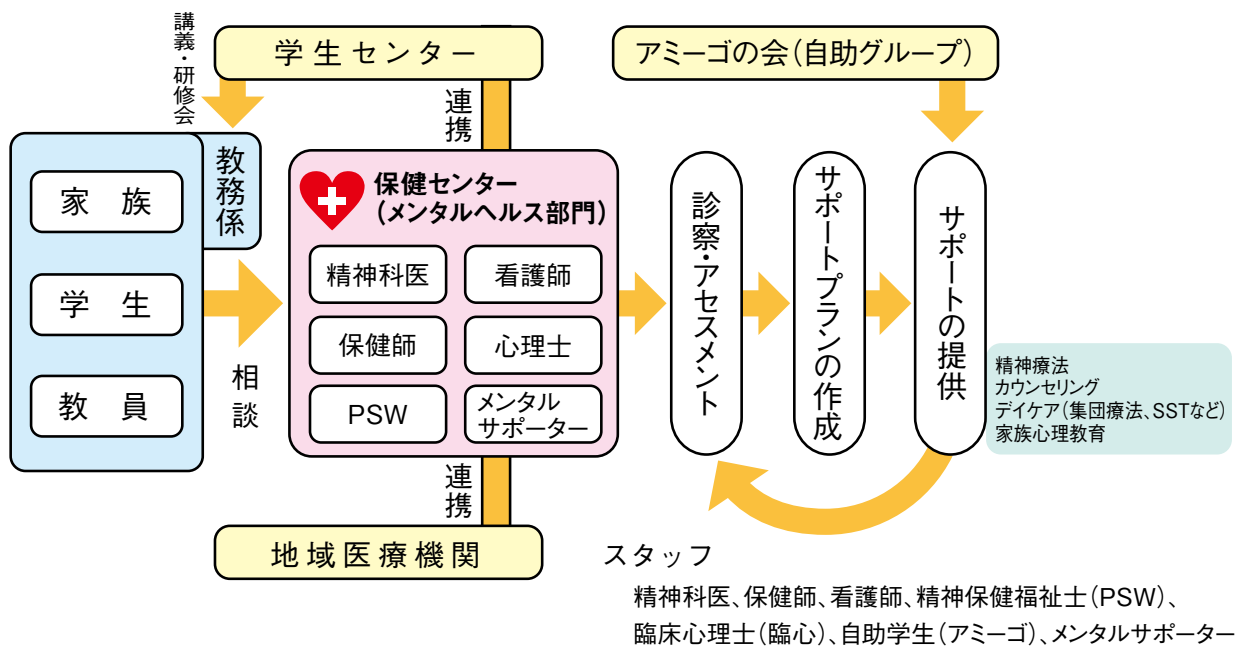
特に、近年全入学時代を迎えこころの病による障害をかかえる学生は増加しています。また、ひきこもり状態など学業への不適応をきたし、修学に困難をきたす学生の数も年々増加傾向にあります。これらが原因となり、休学・留年、そして、卒業後も未就労である学生は全国的に増加しつつあります。

保健センターでは、4 年間一貫した学生のメンタルサポート体制を充実させ、こころと身体のバリアフリーのキャンパスを目指して以下のような取り組みを実施しています。

1. こころの病をかかえた学生の入学から就労までを支援する大学でのキャンパス・デイケアの実施。
2. ひきこもりなど、学業への不適応の原因と考えられる人間関係を含めたキャンパス・スキル向上を図ることを目的とした集団療法の実施や自助グループ（アミーゴの会）の育成。
3. ひきこもりやこころの病を克服した卒業生をメンタルサポーターとして雇用し、後輩の相談やサポートにあたっている。



♥ 和歌山大学メンタルサポートシステム



紀州経済史文化史研究所 Institute of Kishu Economic and Cultural History

紀州経済史文化史研究所は、「紀州地域の経済、文化の史的研究及び自然に関する基礎的研究並びにそれらに関する資料の収集及び公開を行い「知」の提供を通じて地域社会の発展に寄与すること」を目的とした施設です。昭和26年に設立され、現在は図書館棟3階にあります。伝統もあり、全国的にも著名な施設です。

平成19年には、博物館相当施設となり、常設展や特別展なども開催しています。

主な事業は、紀州地域の史的研究や資料収集、フィールドミュージアムを基盤にすえた地域との共同研究、史料保存及び展示の開催、史料等の閲覧サービス、研究紀要の刊行、公開研究会の開催などで、地域史研究などの核となる活動をしています。



協働教育センター Center for Collaborative Learning and Teaching

協働教育センターは、若者の自主的・創造的科学研究活動を促進するために、建物、設備、指導者、資金などの面で支援を行う日本で初めてのセンターです。

自主演習や公開体験学習会・おもしろ科学まつりなどのユニークな活動が評価され、平成15年度の文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」、平成19年度の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の指定を続けて受けました。

総合研究棟1階にあるセンターでは、本格的な金属加工・電気工作が可能なものづくり室・機械加工室に加えて、映像制作、ポスター制作、製本などができるところを備えて全学の学生の自主活動のために設備を公開しています。

これらの設備を活用したクリエプロジェクトも多数行われており、全国レベルの大会で優秀な成績を残すなど活躍しています。



●宇宙教育研究所

Institute for Education on Space

地理情報システム(GIS)や情報通信技術(ICT)に支えられ、世界中の人が等しく利用・構築できる日常的な技術として、新しい宇宙開発の時代が急速に幕開けようとしています。平時には農業や物流を支え非常時には防災・減災・緊急医療を支える、地球規模のレジリエンスで持続可能な世界を構築できる「まかせられる人材」の育成と「国際的な強固な人脈」の形成が強く求められています。豊かな自然に囲まれた紀伊半島を舞台として、宇宙教育研究所は各学部と協力し、教育手法の研究・実践および宇宙開発技術の実践・応用を推進、国内外の教育・研究機関に展開しています。



サテライト Satellite



●南紀熊野サテライト

Nanki Kumano Satellite

和歌山県と連携し、田辺市の和歌山県立情報交流センター「Big・U」内に平成17年4月に開設。和歌山大学および大学院授業を開講し、修士の学位取得をめざせるカリキュラムを編成。また、地域ニーズに対応した地域連携・産学活動も行っています。



●岸和田サテライト

Kishiwada Satellite

大阪府岸和田市と連携し、岸和田市立浪切ホール内に平成18年4月に開設。大学の知と地域の知のプラットフォームとして、地元のニーズに対応した高等教育、生涯学習機会の提供や産学官連携活動を通して、住民主体のまちづくりの発展を支援しています。

国際教育研究センター Center for International Education and Research



国際教育研究センターは、平成16年4月1日に設置されました。センターには、Section for International Education（日本語教育・海外研修）、Section for International Research（国際共同研究・国際シンポジウム）、Support Section（留学生支援・地域支援・渉外広報）の3つのセクションが配置されています。

国際交流にかかわる業務の窓口として、各セクションでは常に協力体制を保ちつつ仕事が進められています。

■学部別留学生数内訳数

The Number Items of Foreign Students According to Faculty

平成27年9月1日現在

As of September 1, 2015

区分 Classification	学部 Faculties							大学院 Graduate School							計 Total
	学生 Regular Students		研究生 Research Students		特別聴講生 Special Students		計 Total	学生 Regular Students		研究生 Research Students		特別聴講生 Special Students		計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female		男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female		
教育学部 Faculty of Education	5	10		2	3	20	40	3	10	1	1			15	55
経済学部 Faculty of Economics	6	8	4	2			20	20	39					59	79
システム工学部 Faculty of Systems Engineering	4	3	1		2		10	11	5					16	26
観光学部 Faculty of Tourism		4	1	6			11	3	4		1			8	19
合計 Sum Total	15	25	6	10	5	20	81	37	58	1	2			98	179